

## ◆ 今週のコメント

- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(60歳代男性1例, 80歳代女性1例)(第14週追加分1例含む)あり, 本年の累積報告数は10例となっています。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(30歳代女性)あり, 本年の累積報告数は25例となっています。
- ・ 梅毒の報告が2例(50歳代男性1例, 20歳代女性1例)(第14週追加分1例含む)あり, 本市の累積報告数は14例となりました。近年, 報告数が増加傾向にあります。重症化及び感染拡大を防ぐためには, 早期発見, 早期治療が非常に重要です。京都市では, 平成29年度(平成29年4月)から, これまで各保健センターで実施していたHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を下京区役所に集約しました。気になる症状があれば, ぜひ御相談ください。詳細については, 下記のホームページを御覧ください。  
○京都市情報館「昼間HIV検査について(予約不要)」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000028204.html>
- ・ 播種性クリプトコックス症の報告が1例(60歳代男性)あり, 症状は中枢神経系病変です。推定感染地域は国内で, 推定感染経路は不明です。平成26年9月19日に五類感染症(全数把握感染症)に追加されて以降, 京都市では2例目の報告となっています。届出基準等の詳細については, 下記のホームページを御参照ください。  
○厚生労働省「感染症法に基づく医師及び獣医師の届出について」  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/01-05-140912-3.html>

## ◆ 今週のトピックス: <麻しん>

- ・ 今月初めに本市で麻しん(検査診断例)の報告が1例あり, 本年初めての報告となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 5例(肺結核 なし, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 なし  
【1月以降の累積報告数 103例(肺結核 51例, その他結核 12例, 潜在性結核感染者 40例)うち喀痰塗抹陽性 24例】
- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例(第14週追加報告分1例含む)【1月以降の累積報告数 10例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 25例】
- ・ 五類: 梅毒(早期顕症)2例(第14週追加分1例含む)【1月以降の累積報告数 14例】
- ・ 五類: 播種性クリプトコックス症1例(第14週追加分)【1月以降の累積報告数 1例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	2.22	153
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.88	205
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.93	39
	② 手足口病	0.93	39
	④ 流行性耳下腺炎	0.33	14
	⑤ 突発性発しん	0.31	13
眼科	流行性角結膜炎	0.80	8

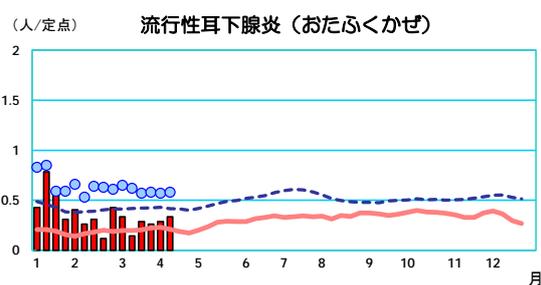
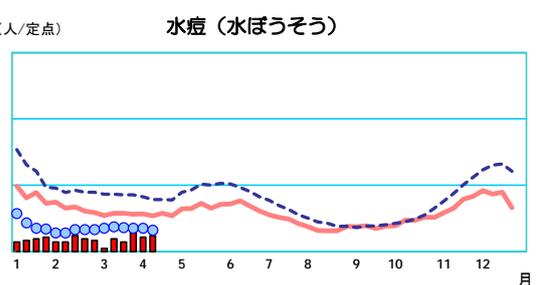
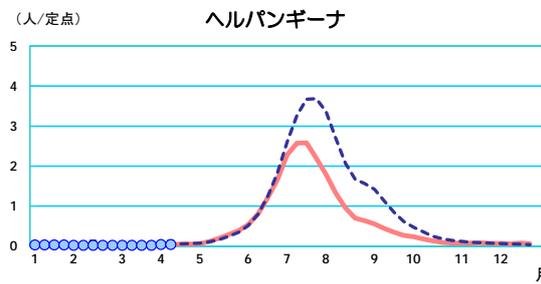
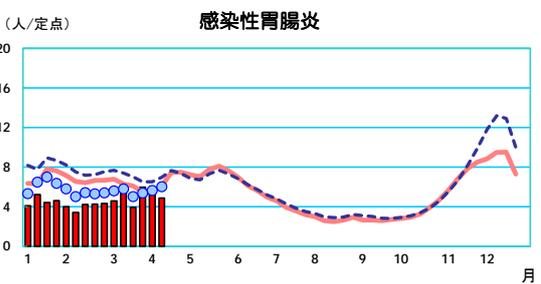
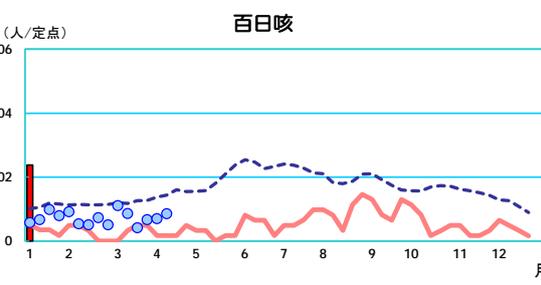
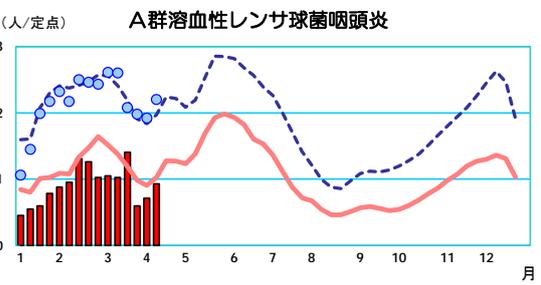
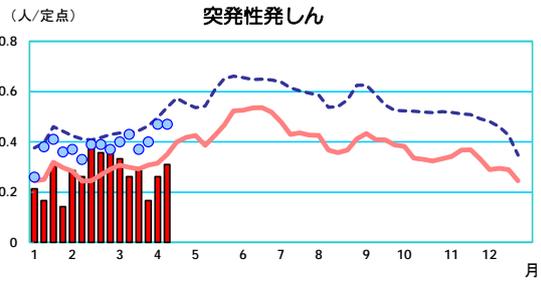
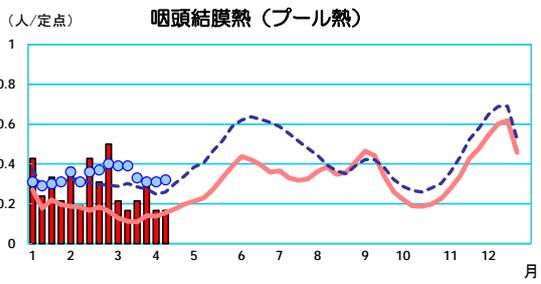
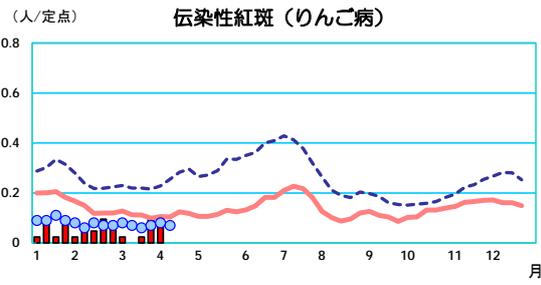
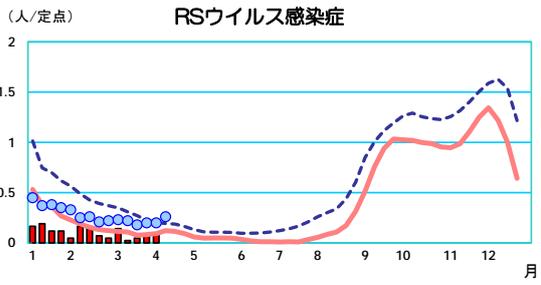
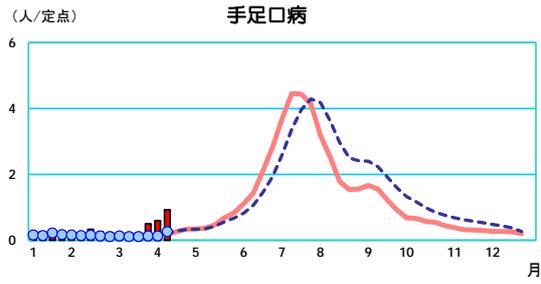
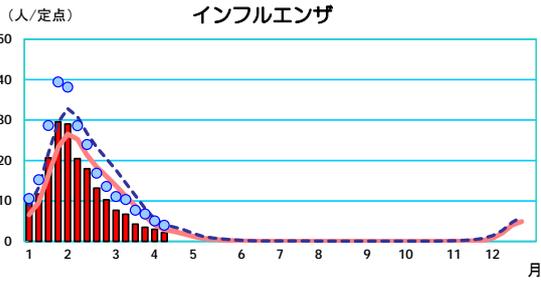
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <麻しん>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは, 平成29年4月19日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



# 第15週(4月10日～4月16日)トピックス: <麻しん>

今月初めに本市で麻しん(検査診断例)の報告が1例あり、本年初めての報告となっています(※1)。本市における報告例は、平成25年以降合わせて10例となっています(図1)。全国においては、平成22年11月以降、輸入症例のみ報告され、平成27年には過去最低の35例まで減少しました。平成27年3月27日、WHO西太平洋地域事務局により、わが国は麻しんの排除状態であると認定されました。しかしながら、平成28年に松戸市、関西国際空港、尼崎市での事例等により報告例が増加し、さらに、平成29年3月に山形県でインドネシアから帰国した男性から広がった患者発生が未だに報告されているなど(平成29年4月20日現在(※2))、全国での報告例は今後さらに増加する可能性があります。

海外の多くの国で麻しんが流行しており、とりわけアジア及びアフリカ諸国で多数の報告があります(図2)。平成28年に全国の地方衛生研究所で分離・検出された139例のうち35例(25%)に海外渡航歴があり、その渡航先の国別内訳をみると、その多くをインドネシアが占めました(図3)。

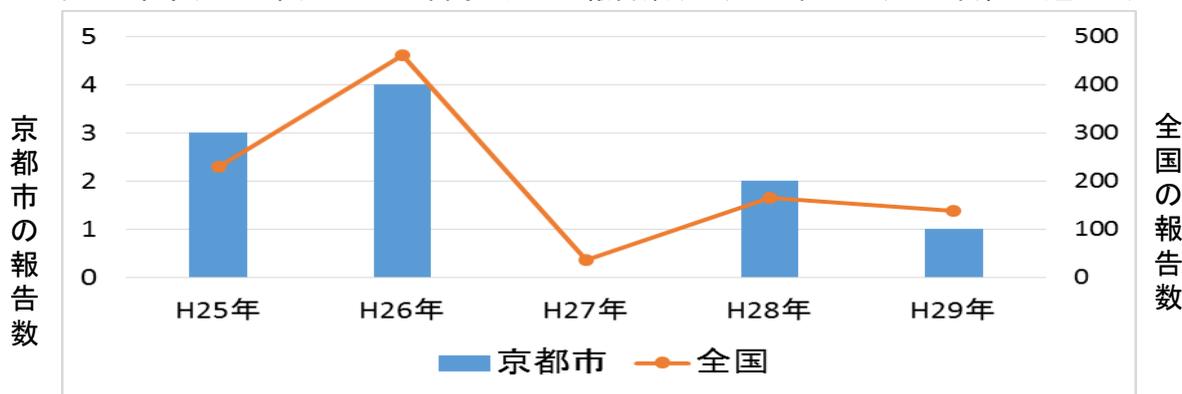
本疾患は麻しんウイルスによって引き起こされる感染症で、感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、その感染力は非常に強く、有効な予防方法はワクチン接種です。感染後、約10日間の潜伏期間を経て、発熱、咳、鼻水等の風邪のような症状が現れ、熱が2～3日続いた後、39度以上の高熱と発疹が現れます。患者の約4割が入院を必要とし、肺炎や脳炎を合併した場合には死に至ることもあります。

一昔前までは麻しんは「誰でも一度はかかる、子どものありふれた病気」とわれてきましたが、今日では、上記のように「死に至ることもある怖い病気」と考えられています。5月の大型連休には海外で過ごす方が多くなります。特に麻しん患者報告数の多い地域を訪れる方は、帰国後、疑わしい症状があれば、重症化予防や感染拡大防止のため、医療機関にかかる前に必ず電話連絡し、指示に従ったうえで受診してください。

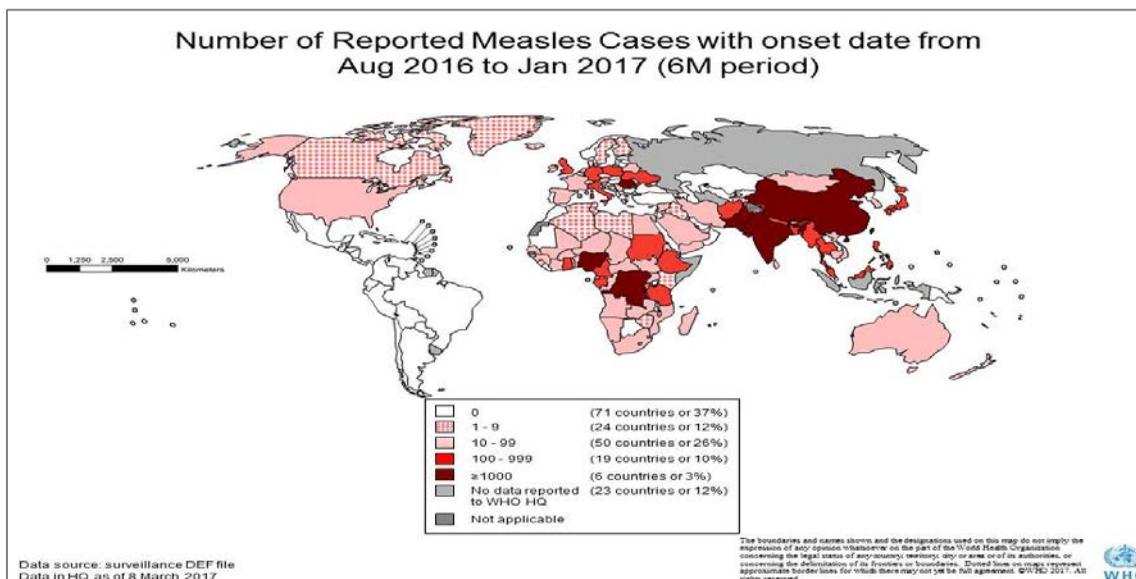
(※1)【広報資料】「京都市内で麻しん(はしか)が発生しました」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000217489.html>

(※2)山形県ホームページ「麻しん(はしか)患者の発生について」  
[http://www.pref.yamagata.jp/ou/kenkofukushi/090001/20130425/mashinn\\_h28.html](http://www.pref.yamagata.jp/ou/kenkofukushi/090001/20130425/mashinn_h28.html)

図1 本市及び全国の過去5年間における報告数(平成25年～平成29年第15週まで)



(図2)各国の麻しん報告数(平成28年8月～平成29年1月)



[http://www.who.int/immunization/monitoring\\_surveillance/burden/vpd/surveillance\\_type/active/big\\_measles\\_reportedcases6months.jpg?ua=1](http://www.who.int/immunization/monitoring_surveillance/burden/vpd/surveillance_type/active/big_measles_reportedcases6months.jpg?ua=1)から引用(平成29年4月19日閲覧)

(図3)麻しんウイルス検出例における渡航歴と渡航先(※)(平成28年)



(※2つ以上の国への渡航した例を含む。)

T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第15週

疾病,行政区別報告数

平成29年4月10日～平成29年4月16日

データ入手日:平成29年4月19日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	13	-	1	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-						
上京	5	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	23	-	3	4	28	1	-	-	2	-	-	3	-	-						
中京	8	-	-	4	12	-	4	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	7	-	-	4	17	3	-	-	-	-	-	1	-	-						
山科	11	-	-	3	3	2	6	-	2	-	-	-	-	5						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
南	20	-	-	4	12	-	4	-	-	-	3	2	-	-						
右京	16	-	-	8	38	2	2	-	3	-	-	5	-	3						
伏見	28	-	2	3	55	1	19	-	4	-	-	2	-	-						
西京	22	-	1	7	28	1	4	-	2	-	-	-	-	-						
京都市計	153	-	7	39	205	10	39	-	13	-	6	14	-	8	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	1.86	-	0.25	-	2.00	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-						
上京	1.00	-	-	0.67	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	3.29	-	0.75	1.00	7.00	0.25	-	-	0.50	-	-	0.75	-	-						
中京	1.60	-	-	1.33	4.00	-	1.33	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2.33	-	-	2.00	8.50	1.50	-	-	-	-	-	0.50	-	-						
山科	1.57	-	-	0.75	0.75	0.50	1.50	-	0.50	-	-	-	-	5.00						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-						
南	4.00	-	-	1.33	4.00	-	1.33	-	-	-	1.00	0.67	-	-						
右京	2.00	-	-	1.60	7.60	0.40	0.40	-	0.60	-	-	1.00	-	3.00						
伏見	2.55	-	0.29	0.43	7.86	0.14	2.71	-	0.57	-	-	0.29	-	-						
西京	2.75	-	0.20	1.40	5.60	0.20	0.80	-	0.40	-	-	-	-	-						
京都市計	2.22	-	0.17	0.93	4.88	0.24	0.93	-	0.31	-	0.14	0.33	-	0.80	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第15週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年4月10日～平成29年4月16日

データ入手日:平成29年4月19日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	153	-	1	7	8	5	9	8	10	6	10	2	14	18	12	12	9	10	6	4	2
RSウイルス感染症	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	7	-	-	1	2	2	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	39	-	1	1	1	2	8	7	5	1	4	3	3	-	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	205	2	14	50	31	18	24	13	9	11	3	5	11	2	12	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	10	-	-	1	1	1	1	1	2	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	39	1	1	23	9	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	13	-	3	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	6	-	-	1	2	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	14	-	-	-	1	1	1	3	4	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	8	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	2	2	-	1	1	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	2.22	-	0.01	0.10	0.12	0.07	0.13	0.12	0.14	0.09	0.14	0.03	0.20	0.26	0.17	0.17	0.13	0.14	0.09	0.06	0.03
RSウイルス感染症	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.17	-	-	0.02	0.05	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	0.93	-	0.02	0.02	0.02	0.05	0.19	0.17	0.12	0.02	0.10	0.07	0.07	-	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	4.88	0.05	0.33	1.19	0.74	0.43	0.57	0.31	0.21	0.26	0.07	0.12	0.26	0.05	0.29	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	0.24	-	-	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.05	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.93	0.02	0.02	0.55	0.21	0.02	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.31	-	0.07	0.17	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	0.14	-	-	0.02	0.05	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	0.33	-	-	-	-	0.02	0.02	0.02	0.07	0.10	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.80	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	0.10	0.20	0.20	-	0.10	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第15週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年4月19日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		532	465	295	240	208	153
RSウイルス感染症		6	1	2	3	4	-
咽頭結膜熱		9	7	9	12	7	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		44	43	59	25	30	39
感染性胃腸炎		192	251	165	250	227	205
水痘		2	8	6	12	9	10
手足口病		5	3	7	21	25	39
伝染性紅斑		1	-	1	4	4	-
突発性発しん		14	11	12	7	11	13
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	3	-	2	1	6
流行性耳下腺炎		14	6	12	11	12	14
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	5	5	5	3	8
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		824	803	573	592	541	494

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		7.71	6.74	4.28	3.48	3.01	2.22
RSウイルス感染症		0.14	0.02	0.05	0.07	0.10	-
咽頭結膜熱		0.21	0.17	0.21	0.29	0.17	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.05	1.02	1.40	0.60	0.71	0.93
感染性胃腸炎		4.57	5.98	3.93	5.95	5.40	4.88
水痘		0.05	0.19	0.14	0.29	0.21	0.24
手足口病		0.12	0.07	0.17	0.50	0.60	0.93
伝染性紅斑		0.02	-	0.02	0.10	0.10	-
突発性発しん		0.33	0.26	0.29	0.17	0.26	0.31
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	0.07	-	0.05	0.02	0.14
流行性耳下腺炎		0.33	0.14	0.29	0.26	0.29	0.33
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	0.50	0.50	0.50	0.30	0.80
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		15.04	15.17	11.28	12.24	11.17	10.95

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。